



緑の絨毯！苔の森

長野県東部に広がる八ヶ岳連峰の懐、佐久穂町と小海町に跨る「白駒の池」は、面積二一四ヘクタールで、二、〇〇〇メートル以上に位置する日本最大の天然湖です。周辺にはコメツガ、トウヒ、シラビソなどの大木が生い茂り、林床は、初夏から夏にかけて、まるで緑の絨



高見石から白駒の池を望む

また、登山道を四十分ほど登った高見石の上からは、原生林に抱かれ青く輝く池の水面、そして天気が良ければ浅間山や西上州、

毯を敷き詰めたような苔が一面を覆っています。秋には湖畔のナナカマドやドウダンツツジなどの紅葉が鏡のような湖畔に映えるため、首都圏を含め、全国から多くの観光客が訪れます。

「白駒の池」の名は、当地に伝わる民話に由来すると言われ、一説によると、恋に落ちた男女を良く思わない女の父親が男を山奥へと追いやり、女は後を追って道に迷った末、一頭の白馬（白駒）に導かれて池へと消え二度と帰ることとはなかったという悲しい物語があり、他の説でも、その名は白馬に由来するとされています。これらの伝説や地域の歴史に思

北アルプス、中央アルプスの山々まで一望できます。国道沿いの駐車場から白駒の池周辺は、木道が整備され、子どもから年配の方まで気軽に散策を楽しむことができます。木道から少し足を延ばせば、本格的なトレッキングコースとなっており、レベルに合わせ様々な自然を満喫できる稀有なスポットとなっています。

を馳せながら原生林や一面の苔に抱かれる神秘の世界を体感してみませんか。



紅葉と白駒の池



◆所在地
長野県南佐久郡小海町千代里字白駒池
◆アクセス
【公共交通】JR佐久平駅より千曲バス 白駒池入口バス停まで約一〇〇分（季節運行）
【自動車】
中央自動車道諏訪ICより白駒の池駐車場約七十分
中部横断自動車道佐久ICから白駒の池駐車場まで、約七十分